

取扱説明書 (国内販売用)

自動ガン

WIDER1A WIDER2A

重要

この取扱説明書に示された警告事項および注意事項は必ず守ってください。
 使用時に不用意な塗料の噴出や、有機溶剤の吸引により重大な身体上の障害を起こすことがあります。
 ▲印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので必ずお守りください。

警告	警告内容を怠った場合、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。
注意	注意内容を怠った場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生する可能性が想定されることを示します。
重要	この記号は、機械の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくために守っていただきたい内容を示しています。尚、本取扱説明書で示す安全事項は、必要最低限のものであります。国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則又、それぞれの企業や事業所で規則、規定として守るべき事項に従ってください。

この取扱説明書は、安全にご使用いただくために重要な警告、注意事項および取扱い方法について記載しています。
 この取扱説明書で扱われている機器は、塗装業務用途の商品です。
 他の用途には使用しないでください。
 正しい取扱指導を受けられ、機械の操作方法を理解された方以外の人は、使用しないでください。
 ご使用前に、必ずお読みになり、十分理解してからご使用ください。
 本書はすぐに確認できる場所に大切に保管してください。

重要仕様

最高使用圧力	0.70MPa
騒音値	83dB(A)
条件	吹付条件 推奨条件
測定位置	スプレーガンより後方へ 1m 地面より高さ 1.6m
使用温度範囲	雰囲気温度 5~40℃ 流体温度 5℃~43℃(液体、気体)

弊社が製造するスプレーガン、エアブラシ等は使用される国や地域毎によって定められている法令に適合している必要があり、これに違反する場合、販売者およびユーザーが罰せられる場合がございます。弊社では各国の法令への対応を現地グループ会社で実施しております。
 国内販売店にてご購入いただきました製品を、当該国へ販売および転売した場合に生じる輸入通関や法令違反に伴う罰則、事故による補償におきましては、弊社は直接、間接を問わず一切の責任を負いません。

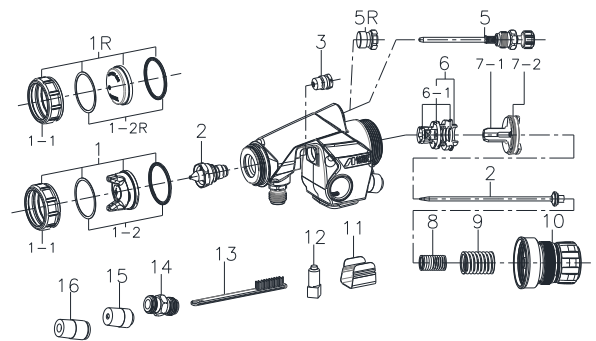
主要仕様

形式	塗料供給方式	塗料ノズル口径 Φmm	適用空気キャップ	推奨使用条件		空気使用量 L/min	パターン開き mm	接続口径	質量 g	ノズル・ニードル ASSY の組合せ						
				吹付空気圧力*1 MPa	塗料噴出量 mL/min					口径 Φmm	表示	ニードル弁 ASSY 表示				
WIDER1A-08E2P	圧送式	0.8	E2P	0.29	150	270	190	【空気】 霧化エアΦ8 作動エアΦ6	400	WIDER1A	Φ0.5	▲ / W1 / 05	05H WIDER1A			
WIDER1A-10E2P		1.0	E1		200	90	220				Φ0.8	▲ / W1 / 08	12H WIDER1A			
WIDER1A-10E1		1.0	E1		100	90	140				Φ1.0	▲ / W1 / 10	15H WIDER1A			
WIDER1A-13H2		1.3	H2		250	260	230				Φ1.3	▲ / W1 / 13	15H WIDER1A			
WIDER1A-15H2		1.5	H2		270	260	255				Φ1.5	▲ / W1 / 15	15H WIDER1A			
WIDER1A-05R		0.5	05R		20	40	35				Φ1.2	▲ / W2 / 12	12H WIDER1A			
WIDER2A-12G2P		1.2	G2P		500	530	400				【塗料】 WIDER1A: G1/4 WIDER2A: G3/8	420	WIDER2A	Φ1.5	▲ / W2 / 15	15H WIDER1A
WIDER2A-15K2		1.5	K2		270	330	340							Φ2.0	▲ / W2 / 20	20H WIDER2A
WIDER2A-20R2		2.0	R2		400	360	320							Φ2.5	▲ / W2 / 25	25H WIDER2A
WIDER2A-25W1		2.5	W1		500	360	330									

*1 吹付空気圧力はピストンを引き空気を流したときのスプレーガン入口圧力です。

部品名称

No.	品名	数量	No.	品名	数量
1	空気キャップ ASSY	1	6	空気弁シート ASSY	1
1-1	キャップカバー	1	◆ 6-1	Oリングセット	1
1-2	空気キャップパッキン	1	7-1	ピストン	1
1R	空気キャップ ASSY	1	◆ 7-2	ピストンパッキン	1
1-2R	空気キャップパッキン	1	8	ニードル弁ばね	1
◆ 2	ノズル・ニードル ASSY ・塗料ノズル ・ニードル弁 ASSY	1	9	ピストン押しばね	1
◆ 3	ニードル弁パッキンセット	1	10	塗料調節装置	1
5	パターン調節装置	1	11	防塵カバー	1
5R	プラグ	1	12	ボルトセット	2
			13	掃除用ブラシ	1
			14	空気ニップル	2
			15	ハーフユニオン(φ6)	1
			16	ハーフユニオン(φ8)	1



◆の部品は消耗品です。

◎ 部品御注文の際は、スプレーガン形式、空気キャップ ASSY、塗料ノズル、ニードル弁 ASSY の刻印、及び上記 No.品名を御指定ください。塗料ノズル、ニードル弁 ASSY は個別での販売は致しません。各部品を交換する場合は、個別に交換せずノズル・ニードル ASSY の組合せで交換してください。開封時に、破損や欠品がないことを確認してください。欠品、輸送上の損傷がある場合は危険防止のため使用せず、お買い求めになった販売店又は当社支店・営業所・サービス会社までご連絡ください。

安全にご使用いただくための警告事項

警告

火災と爆発

1. **吹き付け作業場は、火気厳禁です。**
 ・ 塗料は引火性があり火災の危険性があります。
 ・ たばこ、点火、電気機器等、引火の恐れがあるものは必ず避けた所でご使用ください。
2. **次のハロゲン化炭化水素系溶剤は使用しないでください。**
 化学反応により、本体(アルミニウム部分)にクラック、溶解が発生します。
 ・ 不適合溶剤: 塩化メチル、塩化エチル、二塩化メチレン、二塩化エチレン、四塩化炭素、トリクロロエチレン、1,1,1トリクロロエタン 等
 (特殊な塗料やシンナーは充分適合性を検討した上でご使用ください。適合性検討のための材質リストを提出する用意があります。)
3. **自動ガンには、ガンステーからのアースの接続やアース線入りホースを使用する等、確実にアースを接続してください。**
 アースが不十分ですと、静電気スパークによる火災、爆発の危険性があります。

機器誤用

1. **絶対に人や動物に向けてスプレーしないでください。**
 目や皮膚の炎症、人体への危険があります。
2. **最高使用圧力以上のご使用は絶対に避けてください。**
3. **洗浄、分解、保守作業をする前及び作業中断時には必ず塗料と空気の圧力を逃がしてください。**
 圧力が残っていると、誤動作、洗浄液の飛散により人体に危険があります。
 圧力を逃がす方法は、スプレーガンへの圧縮空気、塗料、シンナー等の供給を停止します。
 次に、ピストン作動用空気のみを供給し、ニードル弁を動かすことにより塗料を排出し、すべての圧縮空気の供給を停止します。
4. **メンテナンスの際、ニードル弁 ASSY および塗料ノズルの先端には触らないでください。**
 ニードル弁 ASSY、塗料ノズルの先端は鋭く尖っており、怪我をする恐れがあります。

人体保護

1. **吹き付け作業は、塗装ブース等を使用し、換気の良いところで使用してください。**
 換気が不十分ですと有機溶剤中毒や引火の危険が増えます。
2. **常に適切な服装または保護具を着用してください。(眼鏡、マスク、手袋)**
 目や皮膚に洗浄液等がつき炎症を起こします。
 目や皮膚に異常を感じたら直ちに医師の治療をうけてください。
3. **健康安全上耳栓の着用をお奨めします。**
 使用条件、作業環境により、騒音値が80dB(A)以上になる場合があります。

その他

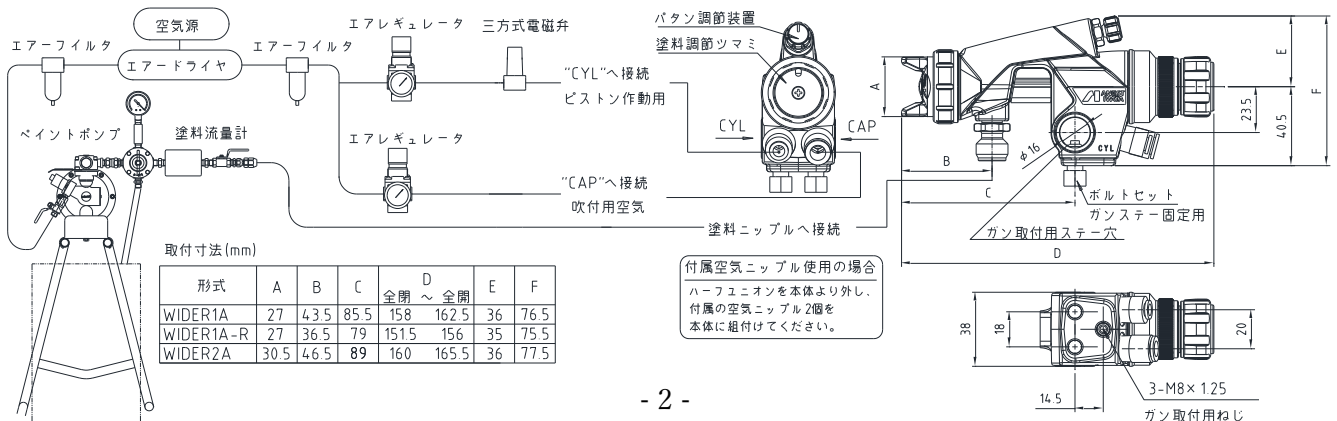
1. **製品の改造はしないでください。**
 十分な性能が発揮できないばかりか、故障の原因となります。
2. **他の装置(ロボット、レシプロ、等)の作動範囲内で作業をする場合は、装置の停止を確認してから行ってください。**
 ロボットやレシプロとの接触だけがをすることがあります。
3. **食品用や化学薬品用には使用しないでください。**
 塗料通路内部の腐食による事故発生や異物混入による健康障害の可能性があります。
4. **異常を発見したら直ちに使用を停止して原因を調査してください。異常が解決されるまでは再使用しないでください。**

接続方法

注意

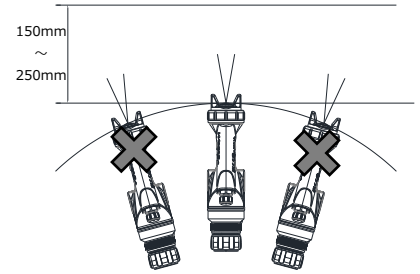
- ・ **エアドライヤやエアフィルタを通したきれいな圧縮空気を使用してください。**
 塗装作業に使用する空気が汚れていると、塗装不良を起こします。
- ・ **購入後初めてご使用の場合は、塗料通路内部の防錆油を取り除くため、シンナーを吹いて内部の洗浄を行ってください。**
 防錆油が残っていると、はじき等塗装不良の原因となります。
- ・ **三方式電磁弁の有効断面積はφ4相当以上及び、エアホースは内径φ6以上10m以内としてください。**
 三方式電磁弁の排出空気容量があまり小さいもの及び三方式電磁弁と自動ガンまでのエアホースを長くしすぎたりすると、作動、停止に多少の遅れが起こります。
- ・ **ホースは、自動ガンにしっかりと固定してください。**
 ホースのはずれ、容器の落下により、人体に傷害を及ぼす可能性があります。

- 作業 1** 自動ガンを取付ステーに取付け、目的の吹付方向に向けてから固定します。
- 作業 2** 吹付空気側(CAP刻印側)に吹付用エアホースを、作動空気側(CYL刻印側)に作動用エアホースを接続します。
- 作業 3** 塗料ホースを塗料入口側に接続します。
- 作業 4** 自動ガンにシンナーを供給し吹付けを行い、自動ガン等の塗料通路をシンナー洗浄します。
- 作業 5** 自動ガンに塗料を供給し、塗料の試し吹きを行い空気量、塗料噴出量、パターン幅を調節します。



■ 調整方法

- 作業 1 作動圧力 0.29~0.39MPa に設定します。
- 作業 2 吹付空気圧力は塗料の粘度、性質により異なりますが、WIDER1A、WIDER2A で概略 0.20~0.34MPa に設定します。
- 作業 3 塗料粘度は、塗料の性質、作業条件により異なりますが、粘度カップ(NK-2)で 15~23 秒程度が適当です。
- 作業 4 吹付距離は小形汎用ガンで 150~200mm、大形汎用ガンで 200~250mm の範囲でできるだけ近づけて塗装してください。



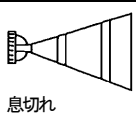


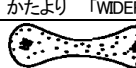
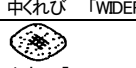
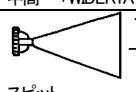
■ 保守・点検

⚠ 警告

- 安全にご使用頂くための警告事項の機器誤用3項に従い、圧力を完全に逃がしてから作業してください。
- 十分理解され、熟達された方が行ってください。
- 腐食を防ぐために PH 値は 6~8 の洗浄液をご使用ください。

保守時の作業手順	重要
1 残った塗料を他の容器に移した後、塗料通路及び空気キャップ ASSY の洗浄を行います。塗料通路の洗浄は少量のシンナーを吹き付けて行います。	1 洗浄不良はパターン形状や粒子の不具合の原因となります。特に二液塗料をご使用後は素早く入念に洗浄してください。
2 各部の洗浄はシンナーで浸したブラシで行い、ウエス等でふき取ります。	2 自動ガン全体及び空気キャップ ASSY をシンナー等の液の中に浸さないでください。長時間浸漬した場合、構成部品の損傷の原因となります。なお、洗浄時には空気キャップ ASSY、塗料ノズル先端、塗料ノズル各噴出穴及びニードル弁 ASSY は絶対にキズを付けないでください。
3 分解する前には塗料通路内部を十分洗浄します。	3 分解した時、シート部に傷を付けないように注意してください。
(1) 塗料ノズルの分解 塗料ノズル分解時工具はメガネレンチ、ボックスレンチ又は別売りの専用スパナ(コード No.93538601)を使用してください。	(1) 塗料ノズルを外す時は、シート部保護のため作動エアを入れ、ニードル弁 ASSY を引いた状態で行ってください。
(2) ニードル弁 ASSY の分解 塗料調節装置を外し、ニードル弁 ASSY を本体セットより引き抜きます。塗料調節装置は、ニードル弁ばね及びピストン押しばねで強く押されているため分解時、ばねが飛び出さないように注意してください。	(2) ニードル弁 ASSY を引き抜く時は、ニードル弁パッキンセットの保護のためニードル弁パッキンセットを緩めてから行ってください。
(3) ピストンセットの分解 ニードル弁 ASSY 後部のねじをピストンセットにねじ込みピストンセットを引き抜きます。	(3) ピストンセットを引き抜く時は、ピストンパッキンに傷を付けないように注意してください。
(4) 空気弁シート ASSY の分解 市販のボックスレンチ(半径 14)を使用してください。	(4) 空気弁シートセットを分解する時は、シート部、Oリングに傷をつけないように注意してください。
4 ニードル弁パッキンセットの分解組立 ニードル弁パッキンセットを調節する時は、ニードル弁 ASSY を挿入したままで一旦、手で締め込みます。手で締めた所からスパナで再度締め込みます。スパナで締める目安は、手で閉めて止まった所から 1/6 回転程度です。ニードル弁パッキンセット交換時先端部分が本体に残る場合がありますので確認してください。 	4 ニードル弁パッキンセットは締め過ぎるとニードル弁 ASSY の動きが悪くなり塗料先端漏れの原因となります。作動エアを ON/OFF させ、ニードル弁 ASSY の動きを確認しながら調節してください。万が一、締めすぎってしまった時は、ニードル弁パッキンセットを完全に緩めてからもう一度締め直してください。
5 パターン調節装置の分解組立 調節装置を全開にしてから本体 ASSY にねじ込みます。	5 パタン調節装置を取り付ける時は、つまみを全開にしないと、パタン調節装置の先端が先に本体こぶつかり、損傷の原因となります。
6 塗料調節装置についての注意点	6
(1) 本体への取付 装置を全開にした状態で、ねじ部にシリコンフリーのグリス又は、オイルを塗布して行います。取付/取外しはローレット部を回して行ってください。 	(1) 塗料調節装置を取り付ける時は、つまみを全開にしないと、ニードル弁 ASSY の先端シート部が塗料ノズルとぶつかり、損傷の原因となります。ねじ部にグリス又は、オイルを塗布しないと、カジリの原因となります。
(2) 調整方法 調節はつまみを回して行ってください。全開の目安は、ガイド~つまみ間の隙間が WIDER1A2mm、WIDER2A1mm です。それ以上に締めすぎないように注意してください。	(2) つまみを締め過ぎると、ノズルが変形してしまいます。
(3) その他 塗料調節装置は分解しないでください。	(3) 塗料調節装置を分解してしまうと、部品紛失などで再組立てできなくなる恐れがあります。

点検箇所	部品交換基準
1 空気キャップ ASSY および塗料ノズルの各穴の通路	つぶれ、変形がある場合は交換。
2 パッキン、Oリング類	変形、摩耗の場合交換。
3 塗料ノズル、ニードル弁 ASSY 間のシート漏れ	塗料ノズル、ニードル弁 ASSY の洗浄を十分行っても、漏れがある場合交換。

パターン	原因	対策
息切れ 	(1) 塗料ノズルと本体のテーパースト間より空気が混入。 (2) ニードル弁パッキンセットからのエア吸込み。 (3) 塗料容器取付けナット又は塗料ホース継手部よりの空気の混入。	(1) 塗料ノズルを外し、シート部を清掃した上で再度取付けてください。尚、シート部にキズがある場合は交換してください。 (2) ニードル弁パッキンの締め増しを行ってください。 (3) 継手部の締め付けを確かめ完全にしてください。
三日月 「WIDERIA-05R 対象外」 	(1) 角孔[キャップ先端の角部分(突起部)にあいている孔]に塗料等の固形物が詰まり両角孔からの空気の強さが異なる。	(1) 角孔の固形物を除去してください。この際、付属の掃除用ブラシを使用し、金属類のものは使用しないでください。
かたより 「WIDERIA-05R 対象外」 	(1) 塗料ノズルの外周及び空気キャップ ASSY 中心に固形物が付着している。又はキズがある。 (2) 塗料ノズル取付けが悪い。	(1) ゴミ・固形物が付着している場合は、除去してください。又、キズがある場合は、その部品を交換してください。 (2) 塗料ノズルを外し、シート部を清掃した上で再度取付けてください。
中くれび 「WIDERIA-05R 対象外」 	(1) 塗料粘度が低すぎる。 (2) 塗料噴出量が多すぎる。	(1) 塗料原液を追加し、粘度を高目に調節してください。 (2) 塗料調節ソマミを絞りを少なくしてください。又は、パターン調節装置を右に回しパターンを絞めてください。
中高 「WIDERIA-05R 対象外」 	(1) 塗料粘度が高すぎる。 (2) 塗料噴出量が少なすぎる。	(1) うすめ液を追加し粘度を低目に調整してください。 (2) 塗料調節ソマミを左に回し噴出量を多くしてください。
スピット 	(1) ノズル・ニードル ASSY のシート不良。 (2) 一段吹き(空気のみ噴出)の減少。 (3) 空気キャップセット内部の塗料汚れ。	(1) 洗浄又は、ノズル・ニードル ASSY の交換をしてください。 (2) ノズル・ニードル ASSY の交換をしてください。 (3) 空気キャップ ASSY の洗浄をしてください。

状況	発生箇所	チェック箇所	原因	締め増し	調整	洗浄	部品交換	
塗料漏れ	自動ガン 先端部	塗料ノズル ~ ニードル弁 ASSY	シート面のゴミ・キズ・摩耗			○	○	
			塗料調節つまみの緩めすぎ ニードル弁ばねのヘタリ		○		○	
		塗料ノズル ~ 本体 ASSY	締め付け不良 シート面のゴミ・キズ	○		○	○	
	ニードル弁 パッキン部	ニードル弁パッキンセット	ニードル弁パッキンセットの締め付けすぎ によるニードル弁 ASSY 戻り不良		○		○	
			ニードル弁 ASSY への塗料の固着 ニードル弁 ASSY 戻り不良		○	○		
		ニードル弁パッキン部	ニードル弁パッキンセット~ニードル弁 ASSY	摩耗	○			○
塗料出ず	自動ガン 先端部	塗料調節装置	開度不足		○			
		塗料ノズル	孔の詰まり・ゴミ・固着			○		
		ニードル弁パッキンセット~ニードル弁 ASSY	塗料固着				○	○
			ニードル弁パッキンセットの締め付けすぎ			○		
空気弁漏れ (空気キャップ ASSY 先端から のエア漏れ)	空気弁 ASSY ~ピストン部	ピストン	シート面のゴミ・キズ			○	○	
		空気弁シート ASSY	シート面のゴミ・キズ			○	○	
		○リング	劣化、キズ				○	

■ 保証と修理サービス

- ・保証期間は、お買いあげの日から6ヶ月です。
- ・万一、故障の場合は、お買いあげの販売店又は当社支店・営業所・サービス会社にご連絡ください。保証期間中は、無償修理いたします。
- ・本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次的損失に対する補償は致しませんのでご了承ください。
- ・次の場合は保証期間内でもお客様のご負担(有償)になります。
 - ・取扱説明書の注意事項を守られなかったことによる故障および損傷 / お客様の取扱上の不注意による故障および損傷 / 消耗品の交換・修理
 - ・天災、地震、火災、地震、水害、塩害、落雷、公害などによる故障および損傷 / 純正部品以外の部品が使用されている場合 / 指定の修理店以外による修理がなされている場合
- ・保証は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan


【免責事項】

本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次的、派生的または間接的な損害に対する補償はいたしかねますのでご了承ください。


【お問い合わせ先】

・電話でのお問い合わせ

スプレーガン、静電塗装機、塗料供給装置、液圧機器、塗装ブース、自動塗装装置、塗装プラント、塗装ロボット、環境装置に関するお問い合わせ

 **0800-100-1926**

その他、上記以外に関するお問い合わせ

 **0120-917-144** <受付時間: 9:00~12:00/13:00~17:00 但し、土日・祝日・弊社指定休日を除く>

・メールでのお問い合わせ <http://www.anest-iwata.co.jp>

各種お問い合わせ先は変更する場合がございますので、最新のお問い合わせ先につきましては当社ホームページをご覧ください。

アネスト岩田株式会社

〒223-8501 横浜市港北区新吉田町 3176

ホームページ <https://www.anest-iwata.co.jp>

取説 No. 03018710

コード No. T1076-02

INSTRUCTION MANUAL

Automatic Spray Guns WIDER1A WIDER2A

Important

Be sure to observe warnings and cautions in this instruction manual. If not, it can cause paint ejection and serious bodily injury by drawing organic solvent.	
Be sure to observe following marked items which are especially important.	
WARNING	Indicates a potentially hazardous situation which, if not avoided, may result in serious injury or loss of life.
CAUTION	Indicates a potentially hazardous situation which, if not avoided, may result in minor or moderate injury or property damage.
Important	Indicates notes which we ask you to observe. The safety precautions in this instruction manual are the minimum necessary conditions. Follow national and local regulations regarding fire prevention, electricity and safety as well as your own company regulations.

This manual contains IMPORTANT WARNINGS and INSTRUCTIONS.
Equipment in this manual is exclusively for painting purposes.
Do not use for other purposes.
The operator shall be fully conversant with the requirements stated in this instruction manual including important warnings, cautions and operation and correct handling.
Read and understand the instruction manual, before use and retain for reference.

Symbol Marking on the Spray Gun:											
This ANEST IWATA spray gun complies with 2014/34/EU Directive relating to equipment and protective systems intended for use in explosive potentially atmospheres.			II	2	G	Ex h	IIB	T6	Gb	X	T Amb +5°C +40°C
	Complies with European Directive	Specific Marking for Explosion Protective	Group II (Surface)	Category (Zone 1&2)	Type of Atmosphere (GAS)	Ignition Protection (not applied)	Explosion Group (Ethylene)	Temperature Class (≤ 85°C)	Explosion Protection level (EPL)	Additional conditions: Any static Electricity should be discharged and needs to be diverted to the ground via a conductive air hose not included.	Ambient Temperature

Important specifications

Max. Pressure	0.70MPa / 7.0bar / 100psi	
Noise level	83dB(A)	
Spray condition	Recommended	
Measuring point	1m backwards from spray gun, 1.6m height	
Max. temperature	Atmosphere: 5°C ~40°C (41°F~104°F)	Air and Fluid: 5°C ~43°C (41°F~109°F)

Model	Nozzle needle assy combination		Fluid needle Mark
	Fluid nozzle		
	Orifice Φ mm (in)	Mark	
WIDER1A	Φ0.5	/W1/05	05H WIDER1A
	Φ0.8	/W1/08	12H WIDER1A
	Φ1.0	/W1/10	
	Φ1.3	/W1/13	15H WIDER1A
	Φ1.5	/W1/15	
WIDER2A	Φ1.2	/W2/12	12H WIDER1A
	Φ1.5	/W2/15	15H WIDER1A
	Φ2.0	/W2/20	20H WIDER2A
	Φ2.5	/W2/25	25H WIDER2A

Main specifications

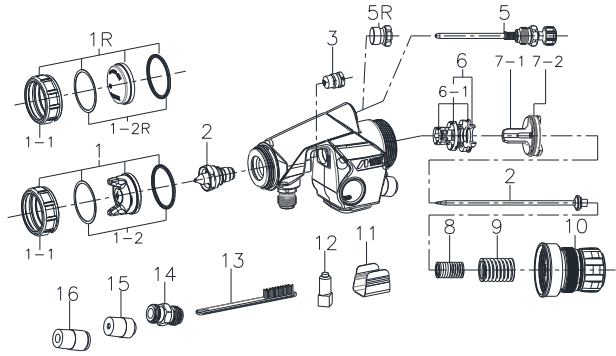
Model	Type of feed	Nozzle orifice Φ mm (in)	Air cap assy Mark	Recommended condition		Air consumption l/min (cfm)	Pattern width mm (in)	Air & fluid connection	Mass g (lbs.)
				*1 Atomizing air pressure MPa (bar / PSI)	Fluid output ml/min				
WIDER1A-08E2P	Pressure	0.8 (0.031)	E2P	0.29 (2.9/43)	150	270 (9.5)	190 (7.5)	【Air】 Atomizing air:Φ8 Operation air:Φ6 【Fluid】 WIDER1A:G1/4 WIDER2A:G3/8	400 (0.88)
WIDER1A-10E2P		1.0 (0.039)	E1		200	90 (3.2)	220 (8.7)		
WIDER1A-10E1		1.0 (0.039)			100	260 (9.2)	140 (5.5)		
WIDER1A-13H2		1.3 (0.051)	H2		250	255 (10.0)	230 (9.1)		
WIDER1A-15H2		1.5 (0.059)			270	35 (1.4)	255 (10.0)		
WIDER1A-05R		0.5 (0.020)	05R		20	40 (1.4)	35 (1.4)		
WIDER2A-12G2P		1.2 (0.047)	G2P		500	530 (18.7)	400 (15.7)		420 (0.93)
WIDER2A-15K2		1.5 (0.059)	K2		270	330 (11.7)	340 (13.4)		
WIDER2A-20R2		2.0 (0.079)	R2		400	360 (12.7)	320 (12.6)		
WIDER2A-25W1		2.5 (0.098)	W1		500	360 (12.7)	330 (13.0)		

*1. Atomizing air pressure means air pressure at spray gun inlet when trigger is pulled and air flows.

Parts list

No.	Description	Qty
1	Air cap assy	1
1-1	Air cap cover	1
1-2	Air cap packing	1
1R	Air cap assy	1
1-2R	Air cap packing	1
◆ 2	Fluid nozzle-fluid needle assy • Fluid nozzle • Fluid needle ASSY	1
◆ 3	Fluid needle packing set	1
5	Pattern Adj. assy	1
5R	Plug	1

No.	Description	Qty
6	Air valve seat assy	1
◆ 6-1	O ring	1
7-1	Piston	1
◆ 7-2	Piston packing	1
8	Needle spring	1
9	Piston Spring	1
10	Fluid adj. set assy	1
11	Cover	1
12	Bolt set	2
13	Brush	1
14	Air nipple	1
15	Half union(Φ6)	1
16	Half union(Φ8)	1



◆ Marked parts are wearable parts.

◎ When ordering parts, specify spray gun's model, part name with ref. No. and marked No. of air cap assy, fluid nozzle and fluid needle.

◎ When replacing fluid nozzle or/and fluid needle, please replace both fluid nozzle and fluid needle assy together.

◎ When receiving the spray gun, make sure that it has not been damaged during transport or storage and also check that all the above contents are inside the box.

Safety precautions

⚠ WARNING

Fire and explosion

- Spark and open flames are strictly prohibited.**

Paints can be highly flammable and can cause fire.
Avoid any ignition sources such as smoking, open flames, electrical goods, etc.



- Never use the following HALOGENATED HYDROCARBON SOLVENTS**

which can cause cracks or dissolution on spray gun body (aluminum) by chemical reaction.
unsuitable solvents : methyl chloride, dichloromethane, 1,2-dichloroethane, carbon tetrachloride, trichloroethylene, 1,1,1-trichloroethane
(Be sure that all fluids and solvents are compatible with spray gun parts. We are ready to supply a material list used in the product)

- Ground spray gun securely.**

Use grounded gun stay. Ground resistance : Less than 1 MΩ. Check the earth stability periodically.
If not, insufficient grounding can cause fire and explosion due to static electric sparking.

Improper use of equipment

- Never point spray gun toward people or animal.**

If done, it can cause inflammation of eyes and skin or bodily injury.

- Never exceed maximum operating pressure or temperature.**

- Be sure to release air and fluid pressures before cleaning, disassembling or servicing.**

If not, remaining pressure can cause bodily injury or property damage.
To release pressure, first shut off the supply of compressed air and fluid to the spray gun.
Then squeeze trigger, while the spray is pointed in a safe direction.



- Tip of fluid needle and tip of fluid nozzle has a sharp point.**

Avoid touching the tip of the fluid needle or fluid nozzle during maintenance to prevent injury.

Protection of human body

- Use only in a well-ventilated area (such as in a spray booth).**

If not, poor ventilation can cause organic solvent poisoning and fire hazard.

- Always wear protective gear (safety glasses, mask, gloves).**

If not, paint, solvents, etc., can cause irritation of eyes and skin.
If you feel something wrong with eyes or skin, immediately see a doctor.



- Wear earplugs if necessary.**

Noise level can exceed 80dB(A), depending on operating conditions and painting site.

Other precautions

- Never alter this spray gun.**

If done, it can cause insufficient performance and failure.

- Only enter the working areas of other equipment (robots, reciprocators, etc.) after machines have safely been shut down.**

If not, contact with them can cause injury.

- Never spray foods or chemicals through this spray gun.**

If done, it can cause accident by corrosion of fluid passages or adversely affect health by mixed foreign matter.

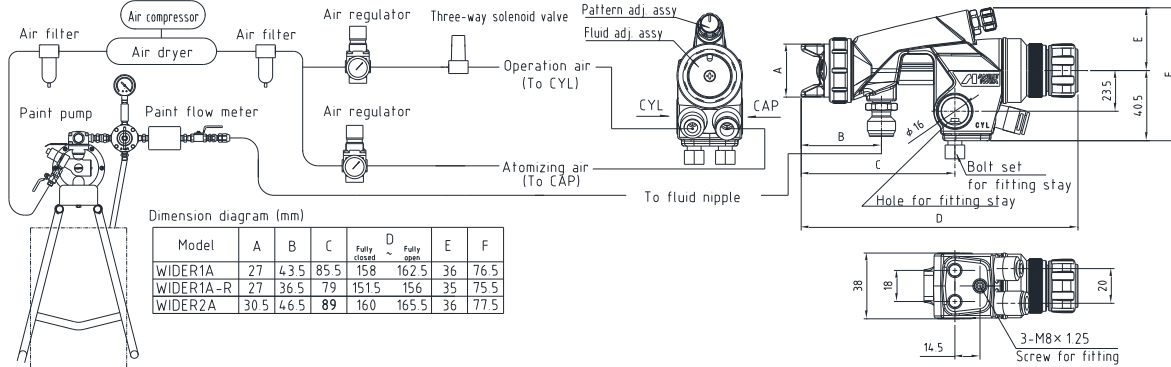
- If something goes wrong, immediately stop operation and find the cause. Do not use again until you have solved the problem.**

How to connect

CAUTION

- Use clean air filtered through air dryer and air filter. *** If not, dirty air can cause painting failure.
- If you use this gun for the first time after purchasing, clean fluid passages spraying thinner and remove rust preventive oil. If not, remaining preventive oil can cause painting failure such as fish eyes.
- Use three-way solenoid valve of more than $\phi 4$ inner dia. cross-sectional area and air hose of over $\phi 6$ inner dia. and less than 10m length. If not, small dia. of solenoid valve and longer air hose between three-way solenoid valve and gun can cause delay in operation.
- Firmly fix hose to spray gun. *** If not, disconnection of hose and drop of container can cause bodily injury.

- Step1 Fit the gun to fitting stay, aim at spraying direction and fix it.
 Step2 Connect atomizing air hose to atomizing air side (Cap marked side) and operating air hose to operating air side(CYL marked side).
 Step3 Connect fluid hose to fluid inlet side.
 Step4 supply thinner to automatic gun. Spray and clean fluid passage with thinner.
 Step5 supply paint to automatic gun and test spray and adjust air volume, fluid output and pattern width as necessary.



Maintenance and inspection

WARNING

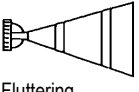
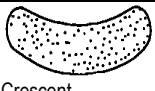
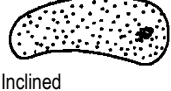

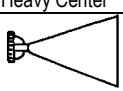
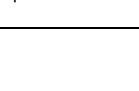
- First release air and pressure fully according to item No. 3 of "Improper use of equipment" of WARNING on page 2.
- Only an experienced person who is fully knowledgeable of the equipment should perform maintenance and inspection.
- Use neutral cleaner: pH value shall be 6 to 8, otherwise could cause corrosion.

CAUTION

- Only use genuine ANEST IWATA parts for any maintenance or repairs.

Step-by-step procedure	Important
1 Pour remaining paint to another container. Clean fluid passages and air cap Assy. Spray a small amount of thinner into fluid passages to clean them.	1 Incomplete cleaning can result in poor spray pattern and contaminated paint. It is especially important clean the gun fully and promptly after using two-component paint.
2 Clean each section with brush soaked with thinner and wipe out with waste cloth.	2 Soaking whole spray gun in solvent may cause spray gun malfunction. Also soaking air cap Assy. itself for extended period may cause a defective spray pattern. When cleaning, never scratch the air cap Assy, fluid nozzle, or fluid needle. Avoid touching or damaging the tip of the fluid nozzle or needle.
3 Before disassembly, fully clean fluid passages.	3 During disassembly, do not scratch seat section.
(1) Disassemble fluid nozzle. Use ring spanner, box wrench or optional exclusive spanner (code No.035386000) to disassemble fluid nozzle.	(1) Remove fluid nozzle after removing fluid needle set or while keeping fluid needle pulled, in order to protect seat section.
(2) Disassemble fluid needle Assy Remove fluid adj. set and pull out fluid needle set from gun body. Pay attention so that spring does not suddenly fly out since fluid adj. set is strongly pushed by fluid needle spring and piston spring.	(2) Pull fluid needle set after loosening fluid needle packing set to protect fluid needle packing set.
(3) Disassemble piston set Screw rear section of fluid needle set into piston and pull out piston set.	(3) Be careful not to damage piston packing when pulling out piston set.
(4) Disassemble air valve seat Assy Use a commercially available box wrench (14mm).	(4) Be careful not to damage O ring and seat section when disassemble air valve seat Assy.
4 When you want to adjust fluid needle packing set, first tighten it by hand while fluid needle set remains inserted. Then tighten it further about 1/6 turn (60-degree) by spanner. When you remove needle packing set, do not leave plastic piece of needle packing set in the gun body.	4 If you tighten fluid needle packing set too much, fluid needle set will not move smoothly, resulting in paint leakage from tip of fluid nozzle. Try to adjust it carefully while pulling piston and confirming movement of fluid needle set. When you tighten it too much, first fully loosen it and then tighten it again carefully.
5 Turn pattern adj. knob counterclockwise to fully open. And then tighten pattern adj. guide into gun body.	5 If fluid adj. set is not fully opened, tip of it can contact and damage tip of gun body set and cause seizure of thread.
6 Notes on the Fluid adj. Assy.	6
(1) How to install on the body To assemble the Fluid adj. Assy, open the Fluid adj. Assy fully and apply silicone-free grease or oil to the threads. To install/remove the Fluid adj. Assy, turn the knurled part.	(1) If fluid adj. set is not fully opened, tip seat section of it can contact and damage fluid nozzle and cause seizure of thread.
(2) How to adjust To adjust the Fluid adj. Assy, turn the groove on the knob part. The standard for fully closing the paint adjustment device is that the gap between the guide and the knob is WIDER1A: 2mm, WIDER2A: 1mm: WIDER2A: 1mm. Do not over-tighten.	(2) If you over-tighten, the nozzle will be deformed.
(3) Other Do not disassemble the Fluid adj. Assy.	(3) If you disassemble it, you may not be able to reassemble it due to loss of parts.

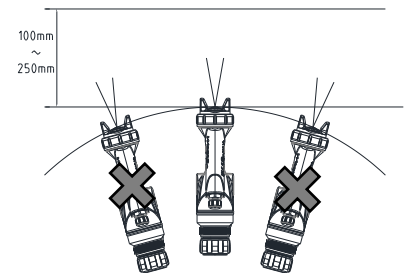
Where to inspect	Parts replacement standard
1 Each hole passage of air cap and fluid nozzle	Replace if it is crushed or deformed.
2 Packing and O ring	Replace if it is deformed or worn out.
3 Leakage from seat section between fluid nozzle and fluid needle set	Replace them if leakage does not stop after fully cleaning fluid nozzle and fluid needle set. If you replace fluid nozzle or fluid needle set only, fully match them and confirm that there is no leakage.

Spray Pattern	Problems	Remedies
 Fluttering	(1) Air enters between fluid nozzle and tapered seat of gun body. (2) Air is drawn from fluid needle packing set. (3) Air enters at fluid container fitting nut or fluid hose joint.	(1) Remove fluid nozzle to clean seat. If it is damaged, replace nozzle. (2) Tighten fluid needle packing. (3) Fully tighten joint section.
 Crescent	(1) Paint buildup on air cap partially clogs horn holes. Air pressure from both horns differs.	(1) Remove obstructions from horn holes with attached brush. But do not use metal objects to clean horn holes.
 Inclined	(1) Paint buildup or damage on fluid nozzle circumference and air cap center. (2) Fluid nozzle is not properly fitted.	(1) Remove obstructions. Replace if damaged. (2) Remove fluid nozzle and clean seat section.
 Spit	(1) Paint viscosity too low. (2) Fluid output too high.	(1) Add paint to increase viscosity. (2) Tighten fluid adj. knob to reduce fluid output. Or turn pattern adj. valve set clockwise.
 Heavy Center	(1) Paint viscosity is too high. (2) Fluid output is too low.	(1) Add thinner to reduce viscosity. (2) Turn fluid adj. valve knob counter-clockwise to increase fluid output.
 Spit	(1) Fluid nozzle and fluid needle set are not seated properly. (2) The first-stage travel of trigger (when only air discharges) decreases. (3) Paint buildup inside air cap set.	(1) Clean or replace fluid nozzle and fluid needle set. (2) Replace fluid nozzle and fluid needle set. (3) Clean air cap set.

Problem	Where it occurred	Parts to be checked	Cause	Remedy			
				R1	R2	R3	R4
Paint leaks	Fluid nozzle	Fluid nozzle ~ fluid needle set	Dirt or damage, wear on seat surface			○	○
			Loose fluid needle adj. knob		○		
			Wear on needle spring				○
		Fluid nozzle ~ gun body	Insufficient tightening	○			
	Dirt or damage, wear on seat surface				○	○	
	Fluid needle packing set ~ needle set	Needle does not return due to packing set too tight			○		
Needle does not return due to paint set too tight				○	○		
Needle packing set	Needle packing set ~ Fluid needle	Needle packing set	Wear	○			○
		Needle packing set	Insufficient tightening	○			○
Paint does not flow	Tip of gun	Fluid adj. knob	Insufficient tightening		○		
		Tip hole of nozzle	Clogged			○	
		Paint filter	Clogged			○	○
			Insufficient tightening		○		
Air leaks (from tip of air cap)	Piston	Piston	Dirt or damage, wear on seat surface			○	○
		Air valve seat set	Wear on needle spring			○	○
			Wear on air valve spring				○
		O ring	Damage or deteriorated				○

■ How to operate

- Step1** Adjust operating air pressure from 3 to 4 bar (43 to 57 PSI).
NOTE: Valve orifice inside three-way solenoid valve should be minimum $\phi 4\text{mm}$ (0.157 in) and also operating air hose length should be within 10m (32.8ft) with the inner diameter more than $\phi 6\text{mm}$ (0.236in) to avoid delayed operation and any kind of failure.
- Step2** Although atomizing air pressure varies according to spray conditions, pulling the piston of the gun with the pattern adj. set fully opened, adjust it normally 3 to 4 bar (43 to 57 PSI) with WIDER1A / WIDER1A-05R / WIDER2A.
- Step3** Recommended paint viscosity differs according to paint property and painting conditions. 15 to 23 sec/Ford cup#4. is recommendable.
- Step4** Set the spray distance from the gun to the work piece as near as possible within the range of 150~200 mm (5.9 to 7.9 in) with WIDER1A / WIDER1A-05R, 200~250 mm (7.9 to 9.8 in) with WIDER2A.



ANEST IWATA Corporation

3176, Shinyoshida-cho, Kohoku-ku, Yokohama, 223-8501, Japan

Manual No. 03018710
Code No. T1076-02